

平成
28年度

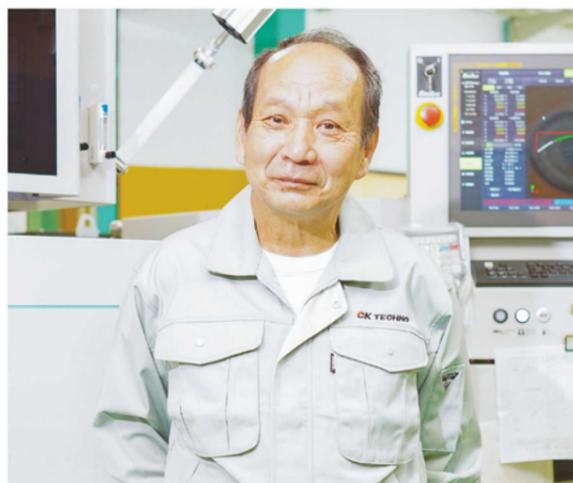
有限会社シーケーテクノ

自動車産業向け部品の製造工程を見直し、高精度、短納期を実現させる計画



会社紹介

培ってきたノウハウを基礎に進化するものづくり
技術にこだわり、「常に挑戦する企業」を目指す



代表取締役 北川 富夫

創業以来、冷間鍛造、圧造工具の製作を行い、主に自動車産業向けフィンガーやチャックスピンドル等を製造。これらの部品を用いて、自動車のパーツを締結する「工業用ファスナー」が生産されている。工場新設や増設向けの量産からメンテナンス向け単品1セットまでと受注の幅が広く、短期納入を目標に対応している。

「常に挑戦する企業」をモットーに、より良い製品を提供できるよう、各工程の改善に絶えず取り組む同社は、近年、加工工程の効率化・高精度化を目的に、NCフライス（静岡鉄工所製）を導入。しかし、自動車産業を中心とした各取引先からの要望や他社との競争において、さらなる生産性の向上等を図るための加工工程の改善が喫緊の課題と考え、補助事業制度を利用。研磨加工で使用する最新の「簡易NC精密円筒研削盤」を購入して、作業の効率を高めると同時に、従業員の技量向上も目指して新たな事業展開を狙う。

補助事業

最新の円筒研磨機を導入して
高精度な商品を短納期で提供

同社が製作する自動車産業向け製造機械部品は、素材加工、焼き入れ、オール研磨、ワイヤ加工、検査の工程を経て製品化されている。今回の補助事業で改善を行う工程がオール研磨で、保有する円筒研磨機では、「機械そのものが古く、精度要求に応えられない」「機械に独特の癖があり、担当者しか使いこなせない」「最大加工径が250mmで、大きなワークの研磨ができない」などの難点が挙げられる。同社が目指す、「より高精度な商品を短納期で提供」を実現するためには、得意のワイヤ加工を軸に各工程間の設備能力の向上、またそれらの設備を使いこなす作業員のレベルアップが欠かせない。そのためには最新の研磨機の導入が不可欠であることから補助事業を展開した。



成果

設備面の体制が整ったことで
金属加工分野の取引拡大に事業展開

最新機は岡本工作機械製作所製の「簡易NC精密円筒研削盤」（OGM330UEXⅢ）で、内・外径をワンチャッキングで加工するユニバーサルタイプ。最大加工径が300mm、芯間距離が330mmと用途が幅広く、治工具や金型部品にも最適だ。

得られた成果として、「精度の向上」「最大加工径の拡大」「電極の内製化」「短納期の実現」「作業員の技能向上」の5点が挙げられる。「精度の向上」に関しては従来の限界精度であった100分の1mmは確実に達成できるようになり、「最大加工径の拡大」では300mmまで対応可能になった。これにより、「電極の内製化」や「短納期の実現」に向けた設備面での体制を整えることができ、また従来の取引先からの受注量の増加と、外注費が減ったことによる経費の削減、自動車産業以外の金属加工分野の取引拡大に事業展開できることが見込まれる。



今後の展開

既存以外の分野においても
同社の得意分野を強化していく

今後は、まず既存分野である自動車産業向けに受注量の増加を進めていく。そして、ワイヤ加工におけるさらなる精度向上ニーズに応えるために、最新の高精度機の導入を再度想定し、得意分野の強化と今回の導入機との相乗効果を目指す。

また、今まで取引のなかった市場においても、近隣同業者から注目されていることから外注依頼の増加が期待できるため、自動車産業向け以外の金属加工分野での取引拡大に力を入れていきたいと考えている。

会社概要

会社名	有限会社シーケーテクノ
代表者	代表取締役 北川 富夫
所在地	和歌山県橋本市上田244
資本金	300万円
従業員数	8名
業種	金属製品製造業
設立年月日	平成14年
TEL	0736-32-7601
FAX	0736-32-7336
E-MAIL	ck-techno@ia2.itkeeper.ne.jp
URL	http://cktechno-inc.com/